



中国の非鉄金属需給状況

(主に銅・Ni)

平成17年3月30日

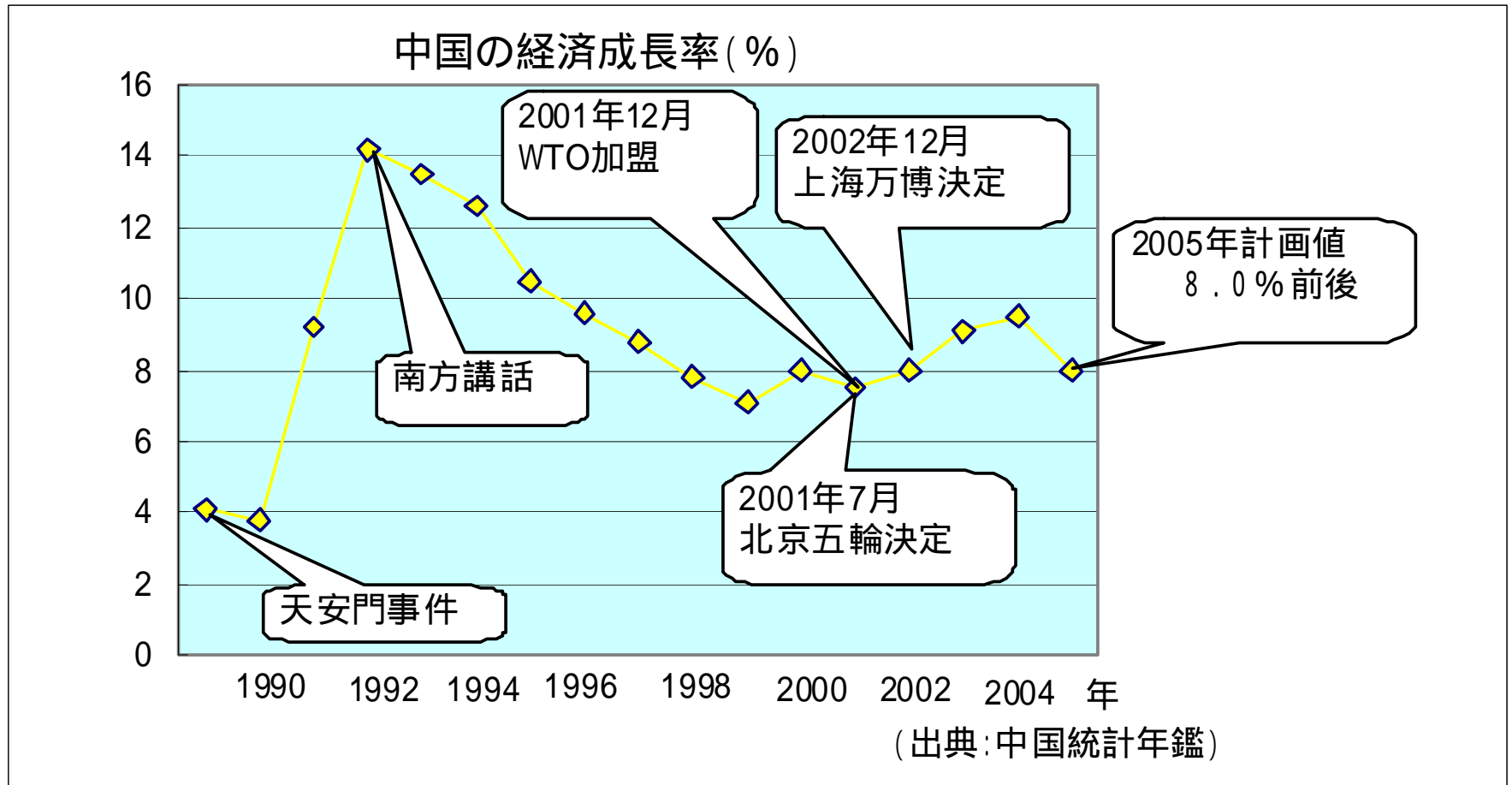
金属資源開発調査企画グループ

馬場 洋三

独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

1. 1990年代以降、中国経済は飛躍的に発展

1992年 鄧小平の“南方講話” 改革開放路線



2. 非鉄金属消費量も大きく増加（自給率低下）

（2004年 銅 6.3倍、Ni 5.2倍 対1990年）

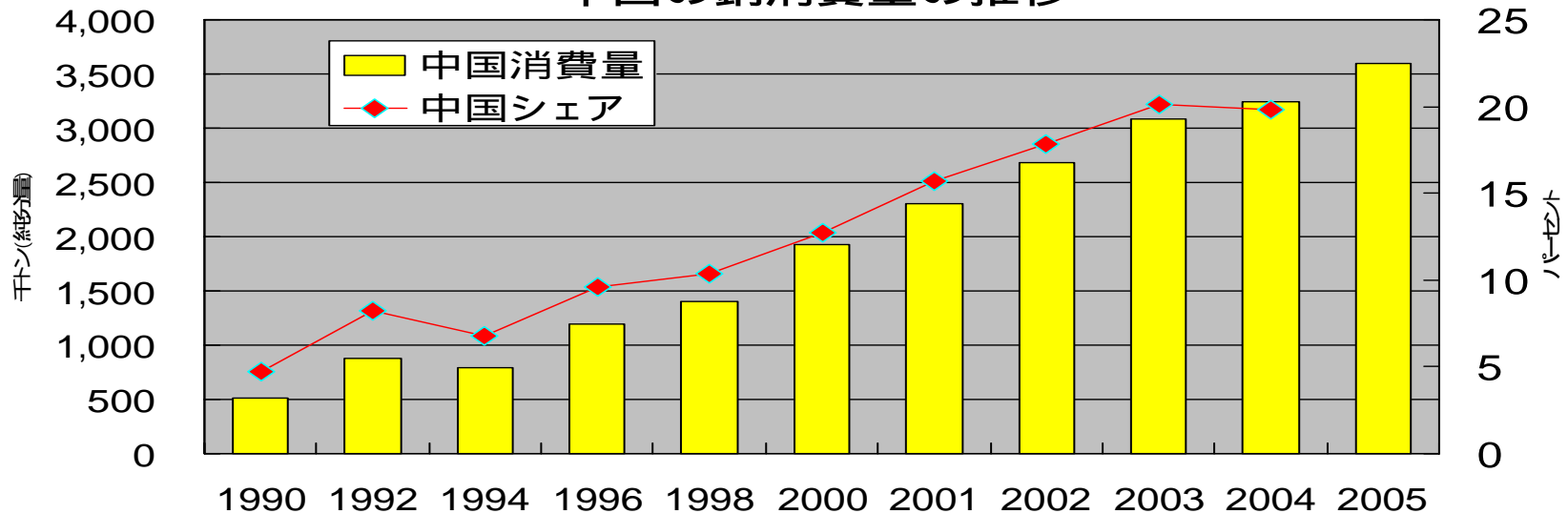


2

	中国消費量(万t)	世界消費量(万t)	対世界比率(%)	国内鉱山生産量(万t)	自給率(%)
銅	324.4	1,638.5	19.8(第1位)	61.3(第7位)	18.9
鉛	139.8	708.9	19.7(第2位)	104.1(第1位)	74.4
亜鉛	253.5	1,026.7	24.7(第1位)	168.8(第1位)	66.6
ニッケル	14.3	131.0	10.9(第3位)	6.5(第6位)	45.0

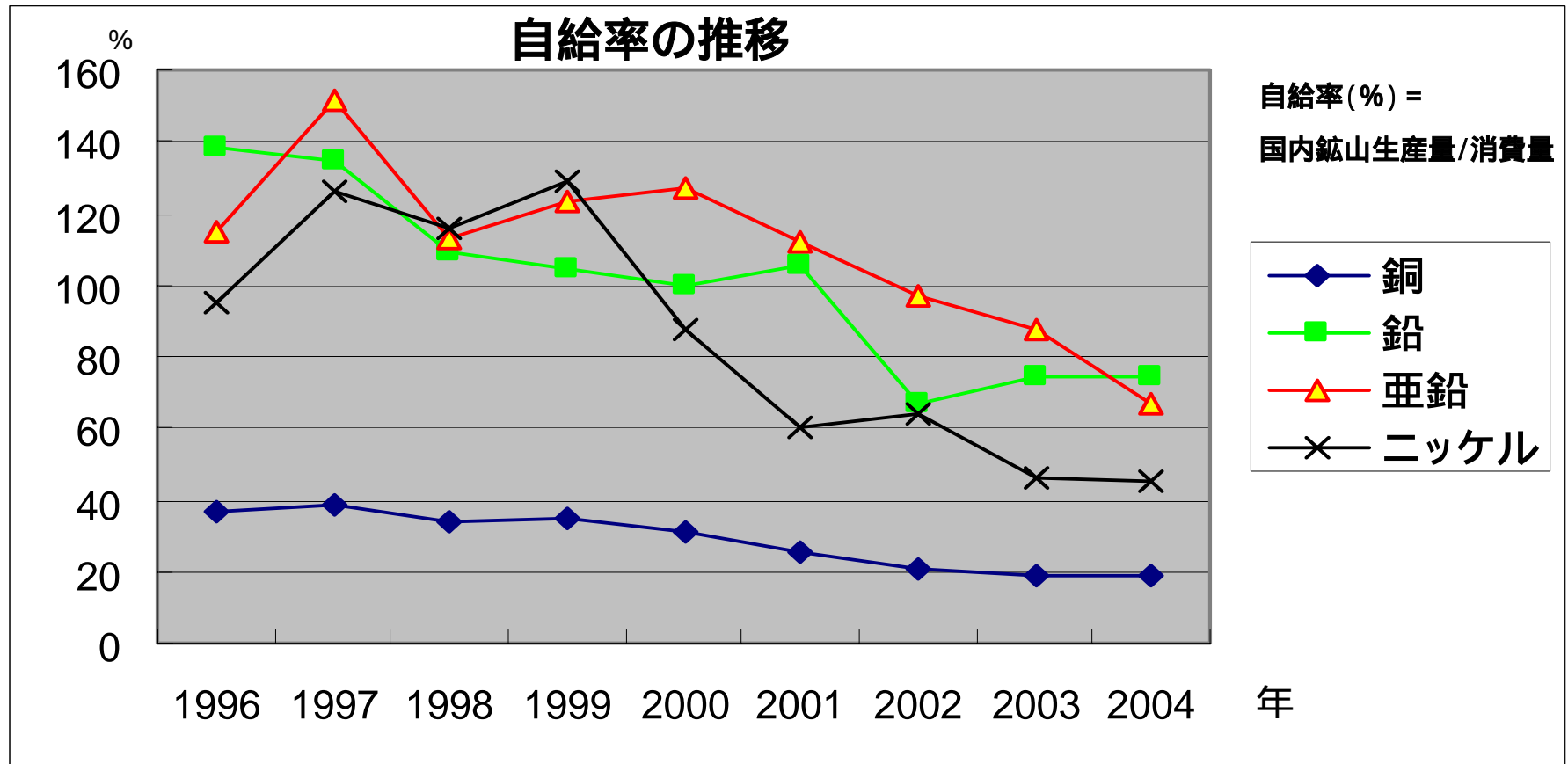
出典: WBMS 2005 Feb.

中国の銅消費量の推移



出典: WBMS 2005 Feb. 2005年予測はAntaiko

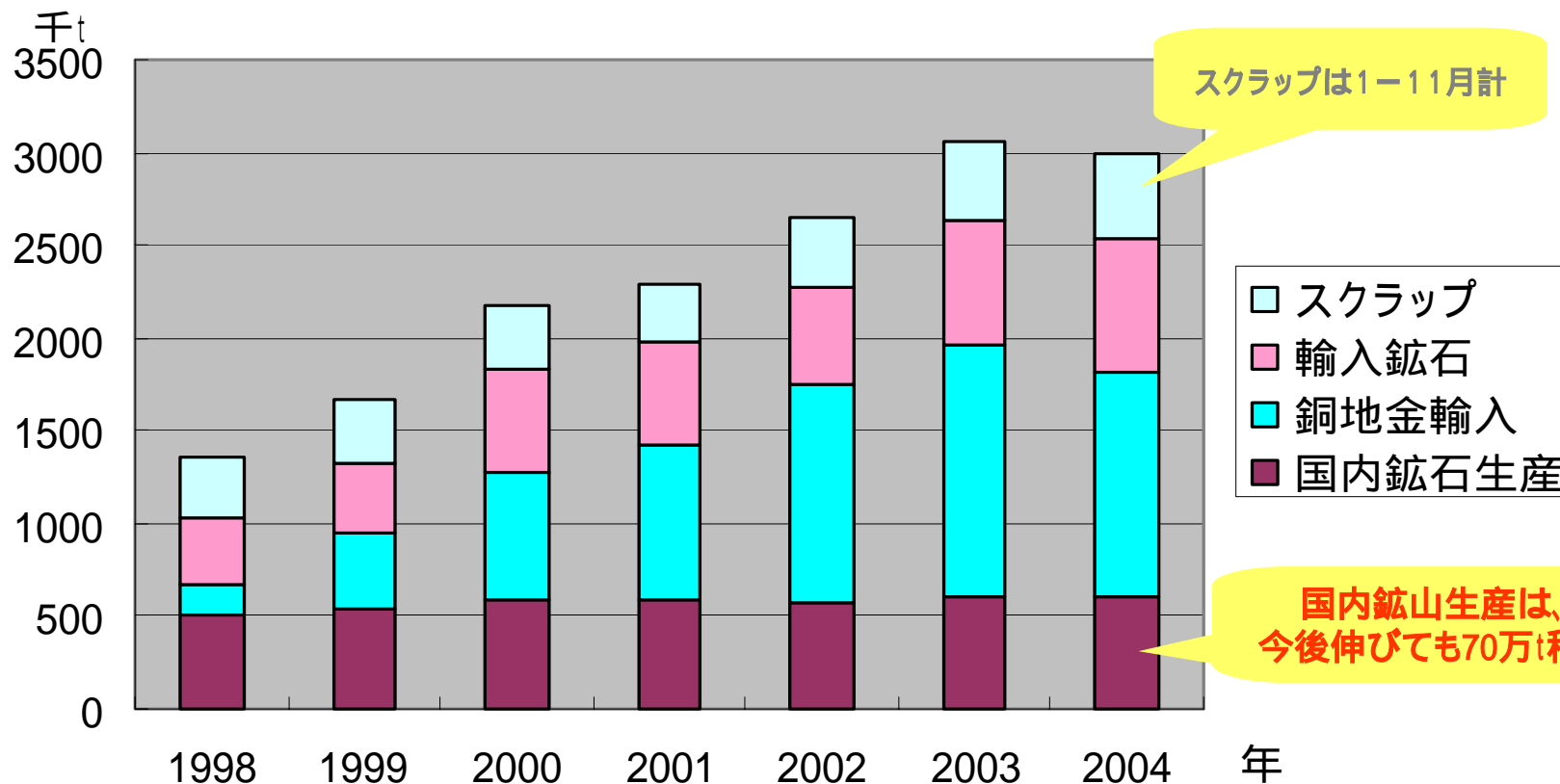
3. 主要金属の自給率は年々低下 (2004年 Cu 19%, Ni 45%) (亜鉛自給率も大幅に低下 67%)



出典: WBMS 2005 Feb.

4. 銅の供給構造（国内鉱山生産は伸び悩み） 銅地金輸入及び鉱石輸入への依存が急激に増加

中国の銅地金生産に係る原料の内訳



出典: WBMS.2005 Feb
ICSG

5. 銅鉍山開発計画と有望銅鉍床地域 等

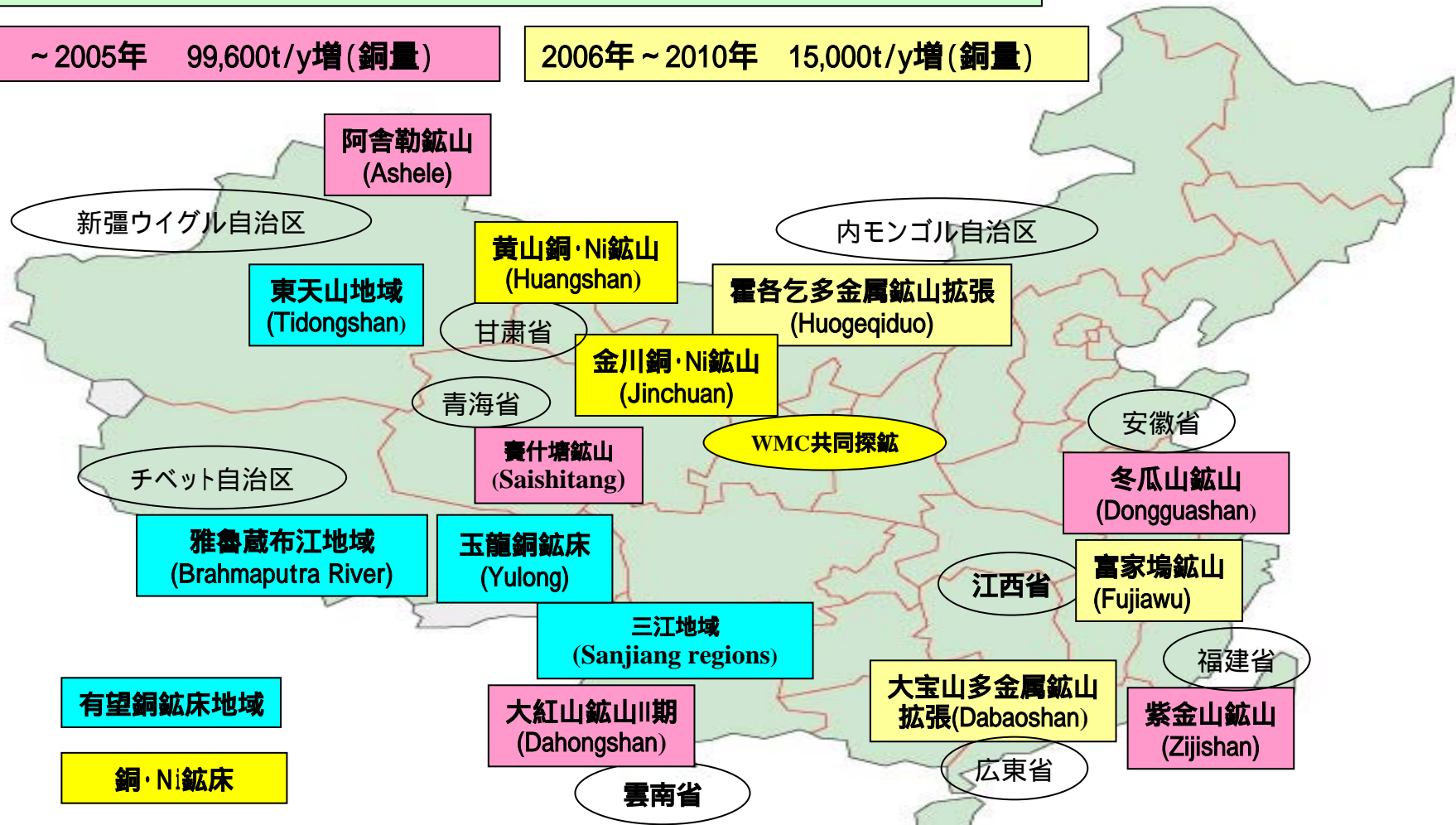
(2002年時点 985鉍床 可採埋蔵量1,850万t 埋蔵量2,970万t)



可採埋蔵量内訳 江西省 515万t(28%) 雲南省 169万(9%) 甘肅省 164万t(9%)等

~2005年 99,600t/y増(銅量)

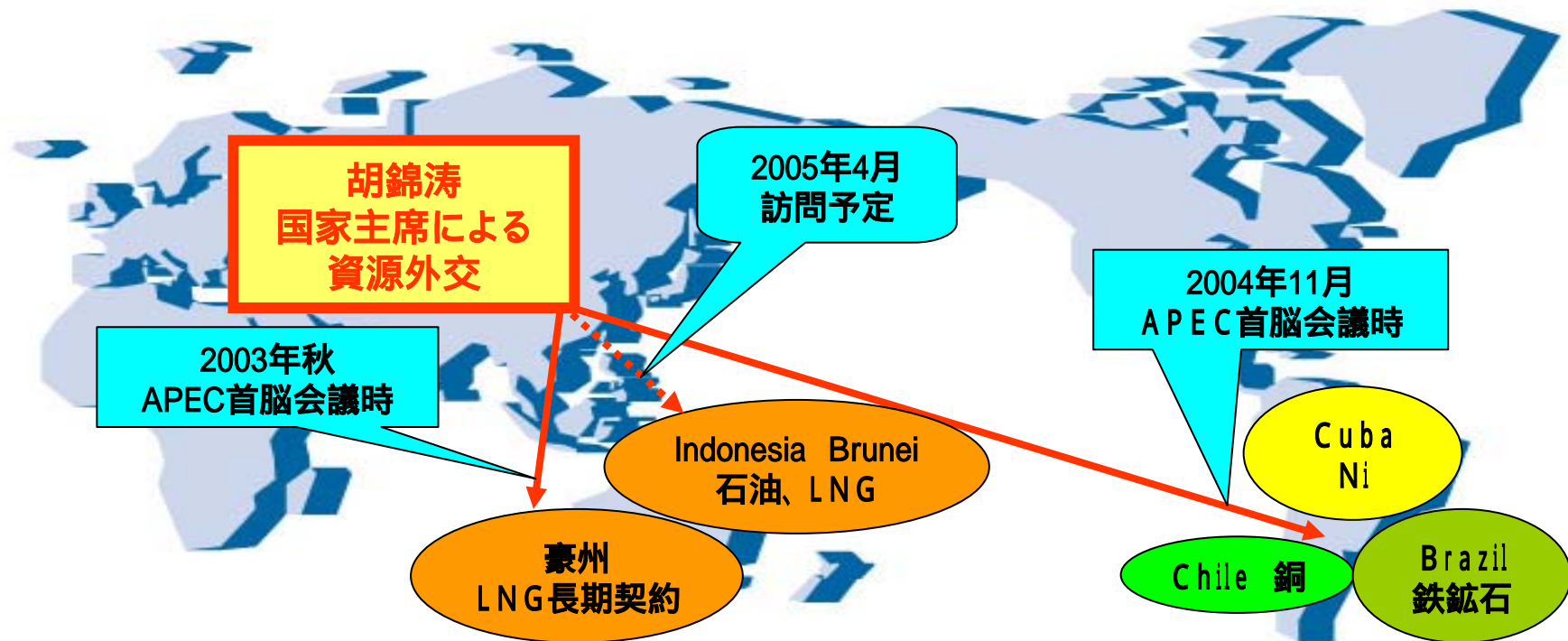
2006年~2010年 15,000t/y増(銅量)



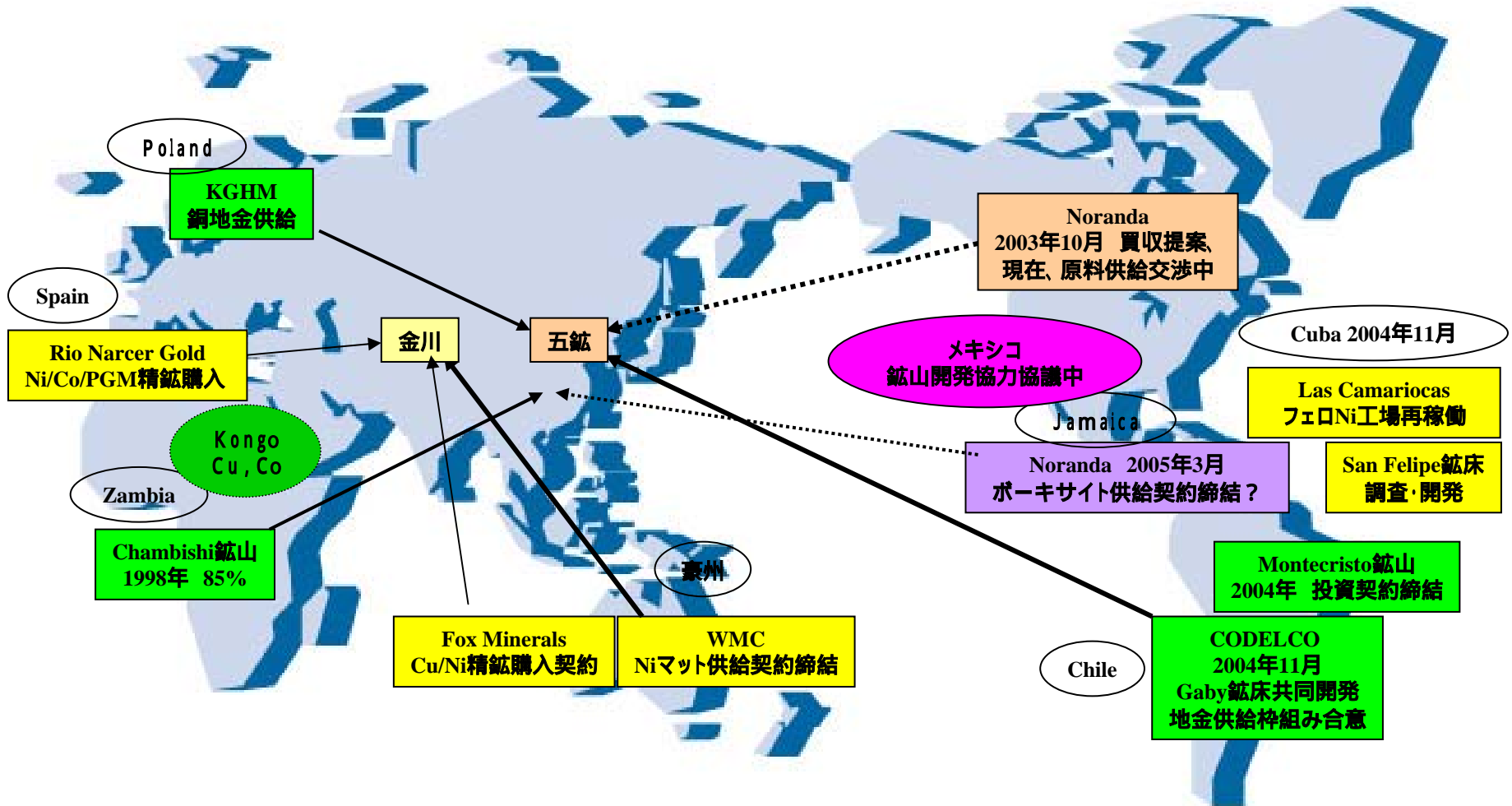
6. 国家主席による積極的な資源外交

(豪州、チリ、ブラジル、キューバ、インドネシア、ブルネイ……)

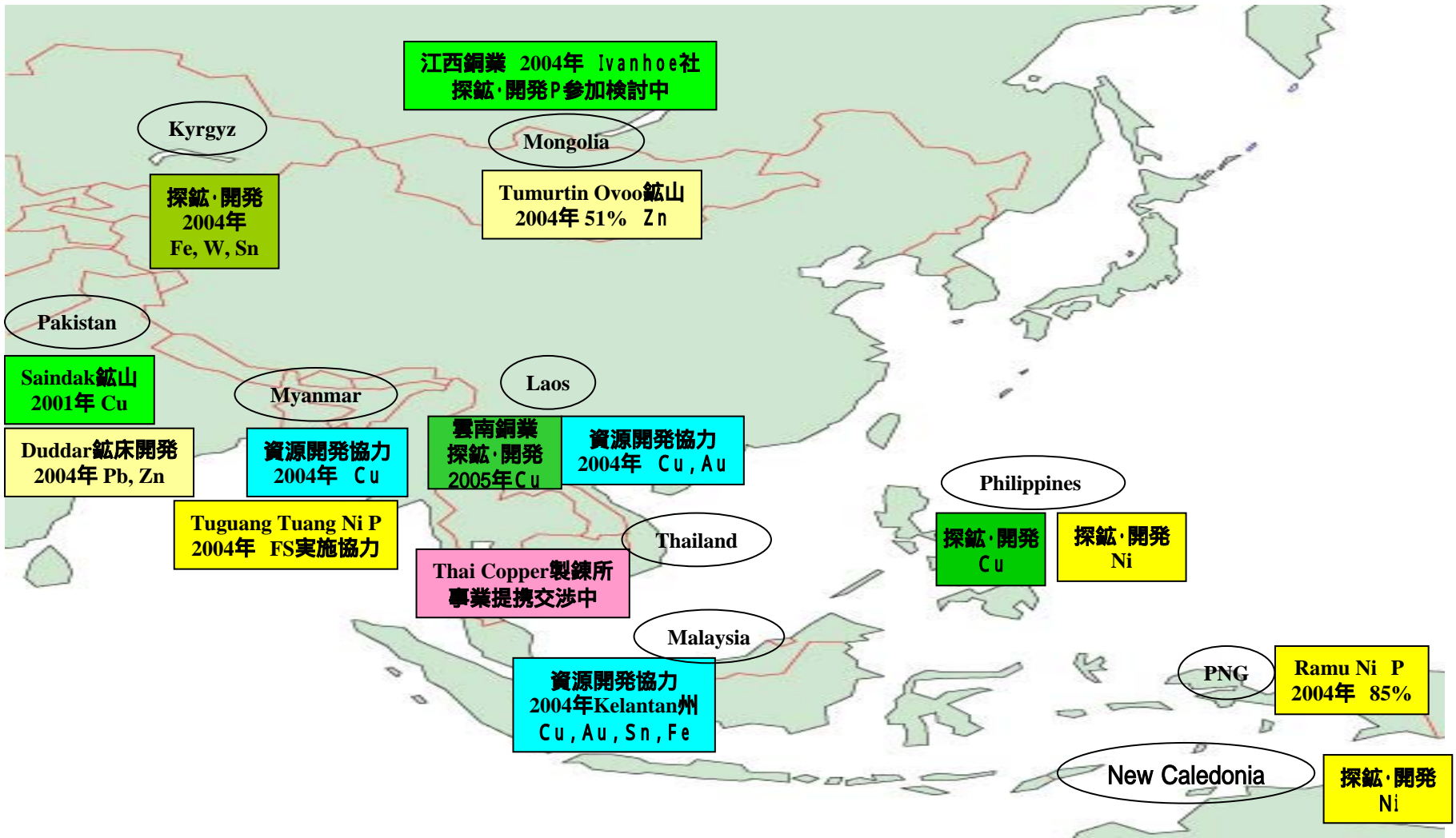
- ・2003年 秋 APEC首脳会議(タイ) 胡錦涛国家主席 豪州訪問(LNG長期供給契約)
- ・2004年11月APEC首脳会議(チリ) 胡錦涛国家主席 チリ、ブラジル、キューバ等の資源国歴訪
- ・2005年 4月予定 胡錦涛国家主席 ブルネイ、インドネシア訪問(エネルギー)
- ・2005年1月末～2月初 Minmetals 周中樞総裁 ベネズエラ、キューバ、ジャマイカ訪問



7. 中国企業の海外投資と原料手当契約等



8. 近隣諸国へも積極的に展開



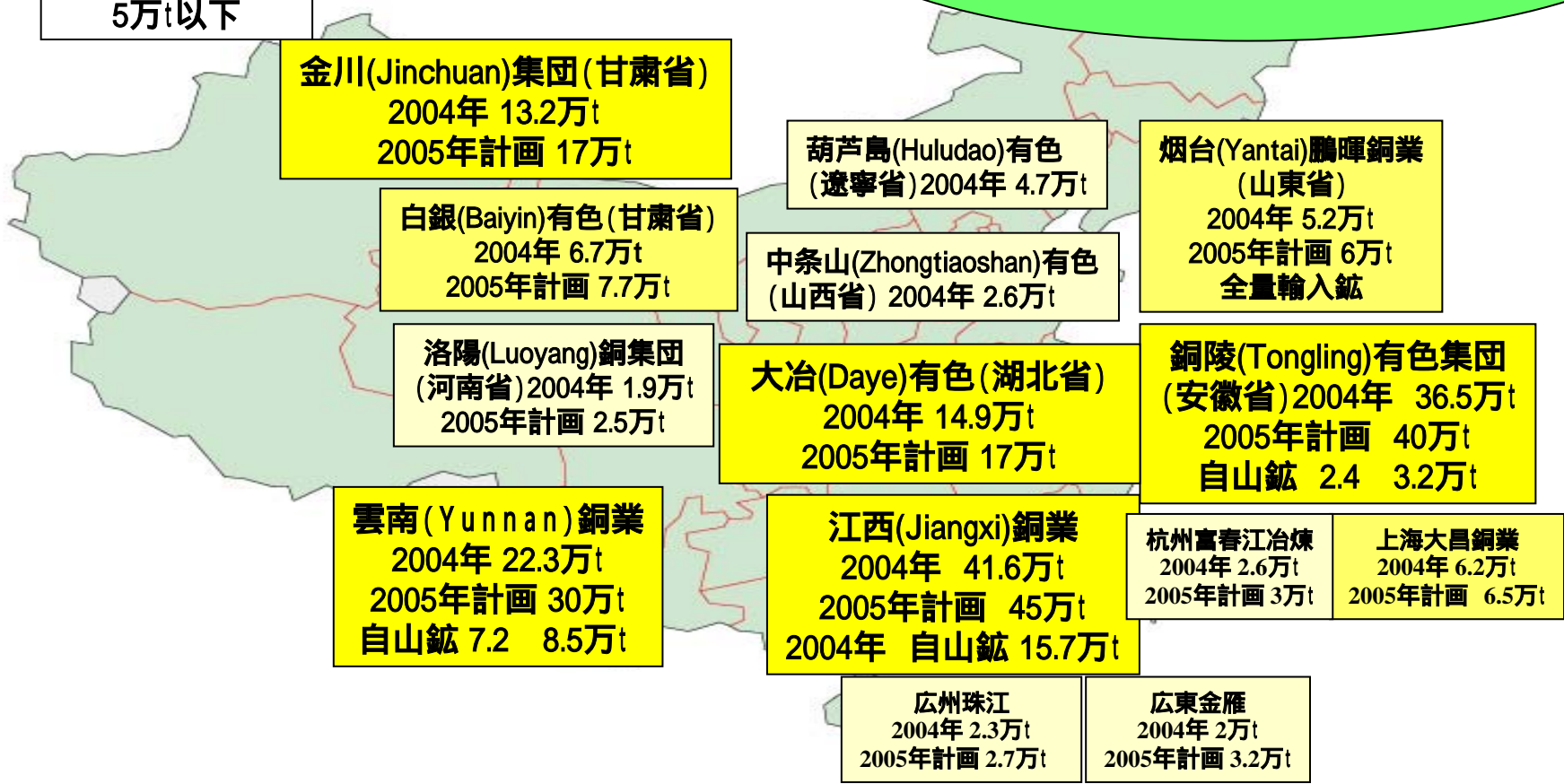
9. 主要銅製鍊企業

2004年 約208万t

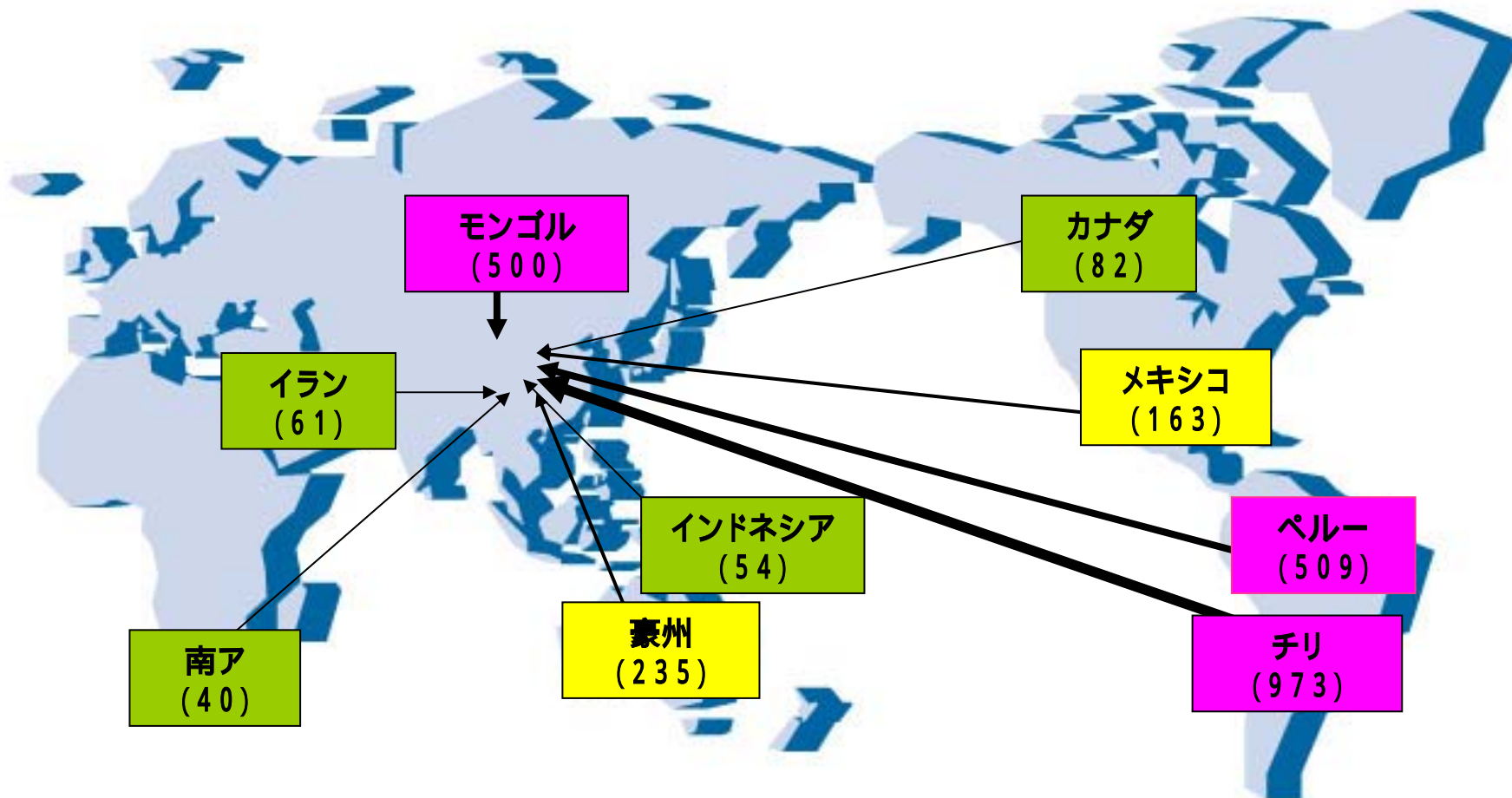
2005年 約220万t

10万t以上
5-10万
5万t以下

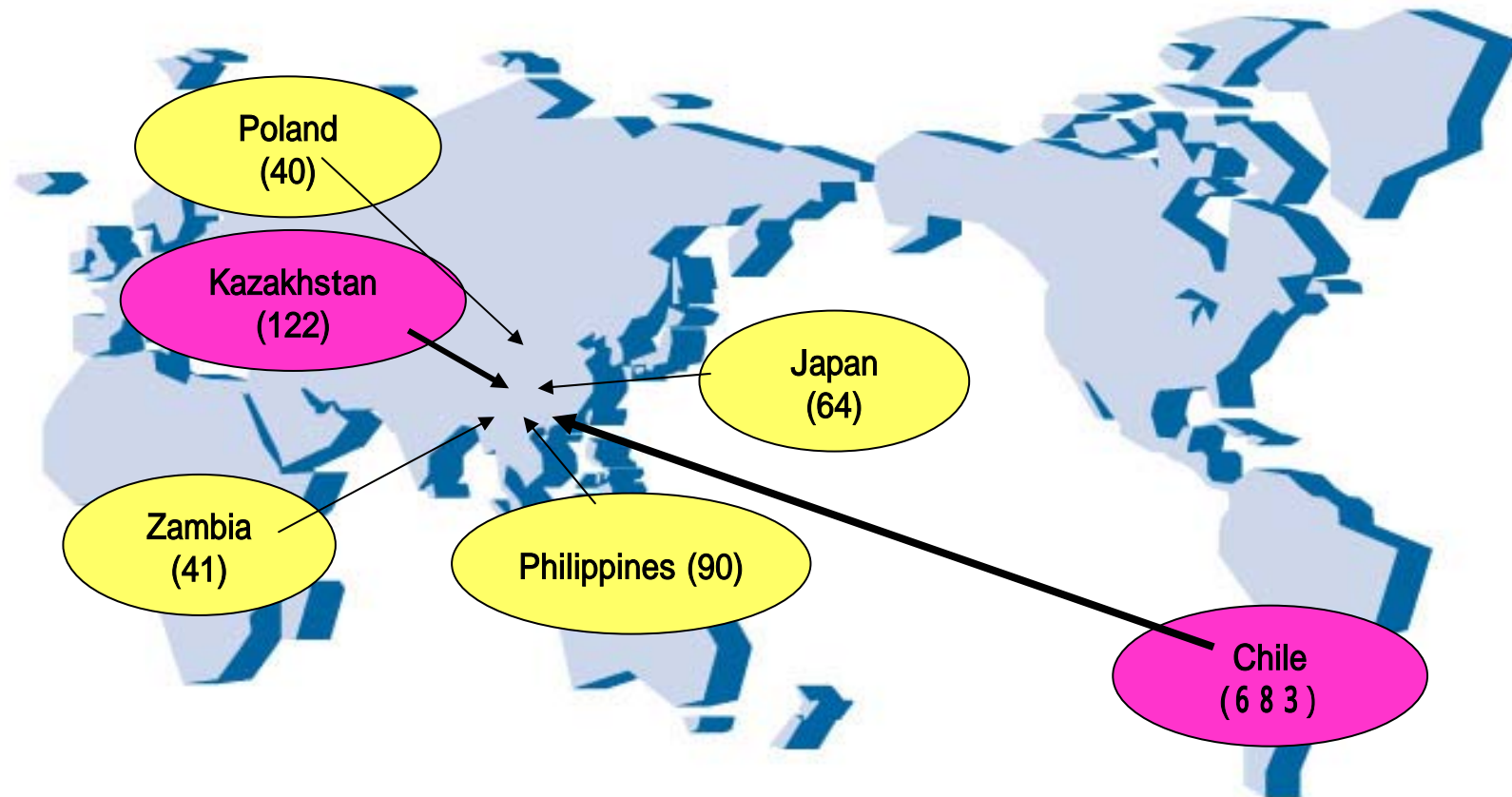
2004年 関中企業生産計 約163万t
 中国総計 約208万t
 2005年 関中企業計画合計 約188万t
 中国総計 約220万t予想



10. 銅鉱石輸入先(2004年総計2,882千t (Gross Wt))

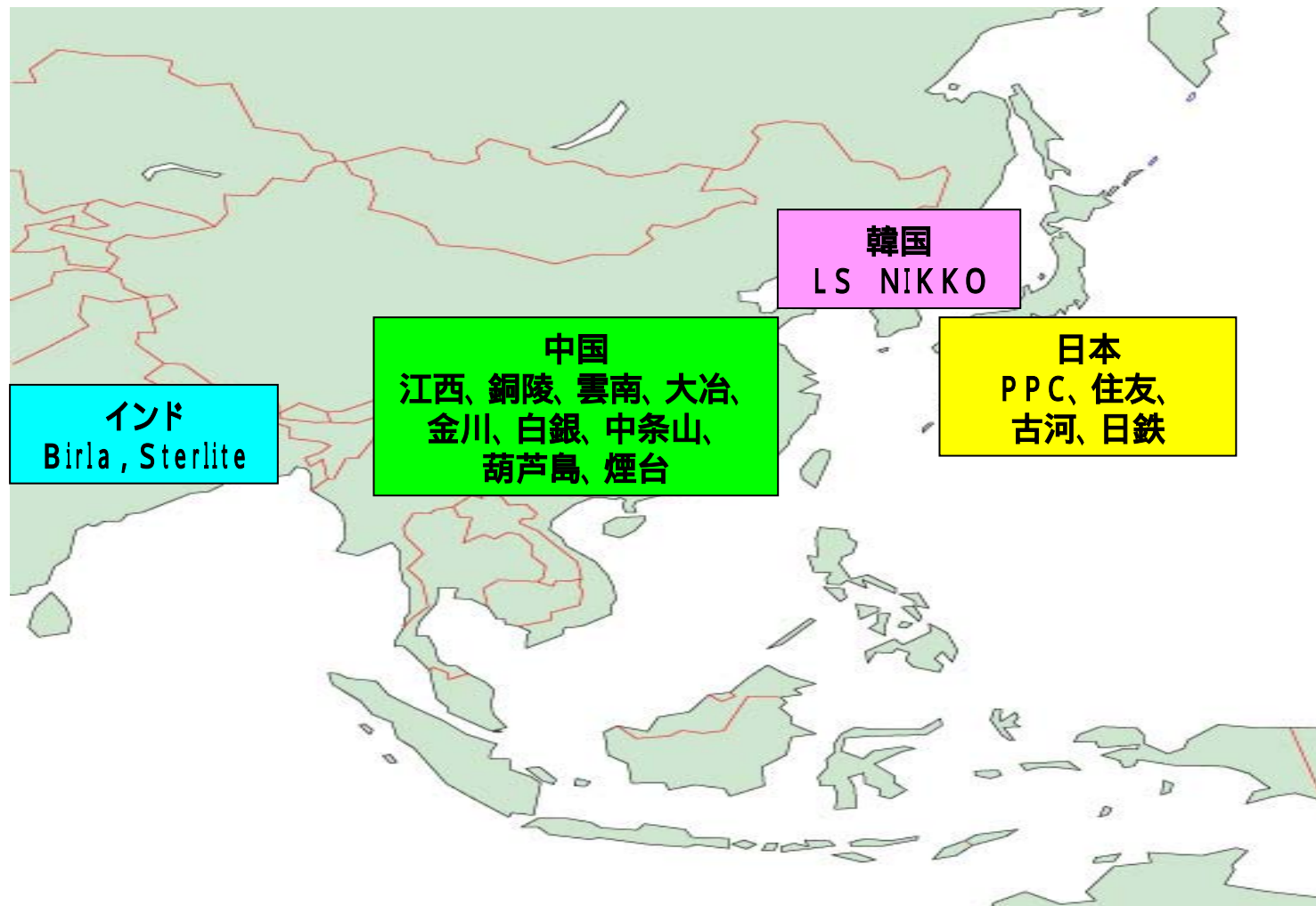


11. 銅地金輸入先 (2004年総計1,220千t)

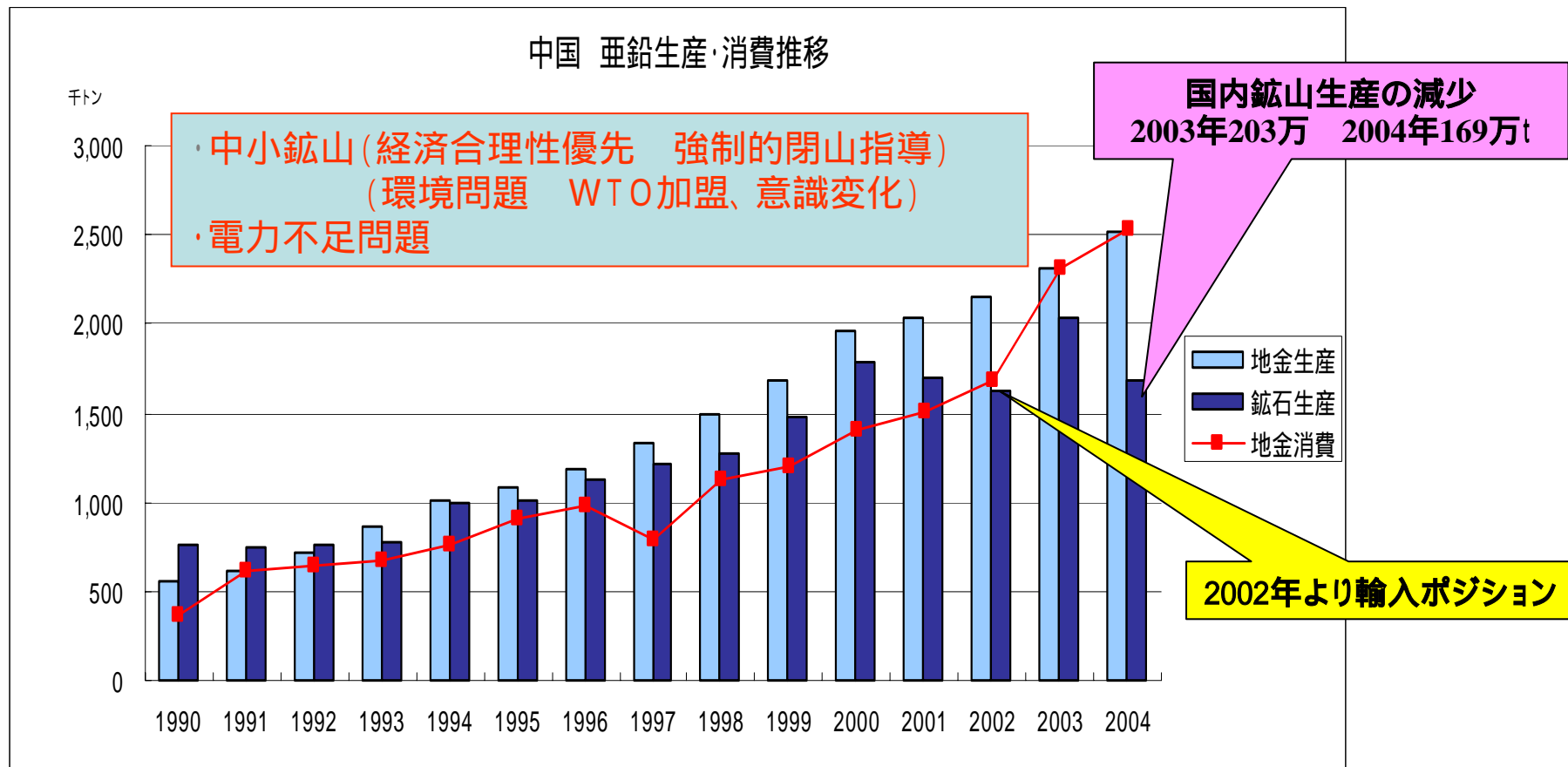


12. 銅精錬業に新たな動きーアジア銅クラブー

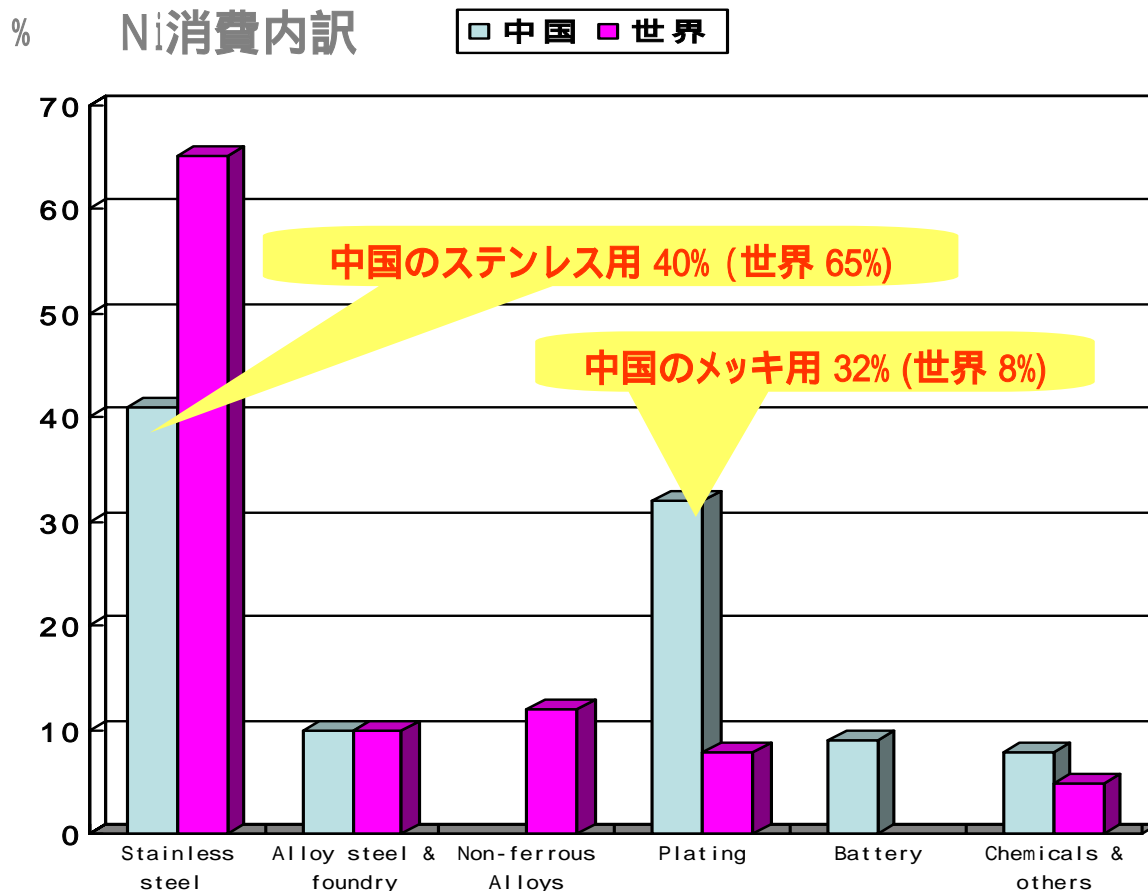
(中国9社、日本4社、韓国1社、インド2社の16社)



13-1. 今後の要注意点 (亜鉛生産) 国内鉱山生産は減少？



13 - 2 今後の要留意点 (ニッケル、亜鉛の消費構造)



亜鉛消費

メッキ用消費 (2001年)

世界	47.2%
米国	51.4%
日本	55.1%
中国	26.3%

出典: ILZSG

中国粗鋼生産

2002年	1億8220万t
2003年	2億2110万t
2004年	2億7250万t

出典: IISI

INSG, Antaike